

ものの見え方について



後期も始まってひと月が過ぎようとしています。学内には金木犀の香りもただよい、季節は確実にすすんできていますね。

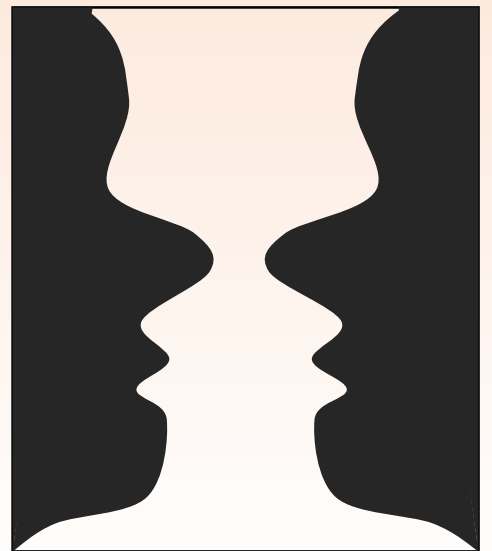
今回は、ものの見え方についてのお話です。みなさんは、下記のような図を見たことがありますか？

第1印象で、あなたは「顔」が見えましたか？ それとも「壺」が見えましたか？

これは有名な「ルビンの壺」と呼ばれている錯視画で、顔にも壺にも見えます。

どちらにも見えた人もまずは、第一印象で見た時にどちらかに見えたと思います。どちらが正解ということはないけれど、人によって見え方が違ってきます。

たとえば、自分で物事を見るときに、いつもの自分のパターンでそれを見ているかもしれません。人それぞれ癖があって、形が印象にのこりやすかったり、色が印象にのこりやすかったりと、様々です。



もし、何かの考えに行き詰ったり、とらわれて身動きが取れなくなった時は、別の角度から物事を見つめて違う視点から考えてみるとよいかもかもしれません。そうすると、良い案がひらめいたり、心配であったことも安心できるようになるかもしれません。

どうしても一人で考えると行き詰ってしまう場合は、ほかの人の視点を借りることもよいと思います。身近にそういう人がいない場合は、ぜひ学生相談室に話にきてください。一緒に別の視点を探しましょう。



学生相談室では、毎年2回「ティーアワー」を開催しています。次回は、11月25日（月）昼休み・3限に「自分を知ろう！」というテーマで心理検査を実施します。詳細は、おってポスター等でお知らせします。



学生相談室（20号館1階）

開室日：月曜日～金曜日10時～17時

（月・水曜日は17時半まで）

電話：0721-24-1049

e-mail：soudanshitsu@osaka-ohtani.ac.jp